

# 研修報告

## 「故郷の家・京都」 施設見学会

報告：研修委員会

4月17日、「故郷の家・京都」の施設見学会に13名の方が参加されました。

「故郷の家・京都」は、京都駅の南、鴨川のほとり約1,400坪の土地に建てられた、特別養護老人ホーム、ケアハウス、ショートステイ、訪問介護、デイサービス、居宅支援等を行っている施設です。敷地内には地域交流スペースの文化ホール(150席)も建てられています。この故郷の家は、高齢になった在日韓国人の方が故郷の香りに包まれて地域の中で暮らせる施設になっています。文化ホールの大屋根には韓国風の装飾が施されたり、室内の調度品等は韓国の香りがいっぱいでした。又、床には”オンドル”(床暖房)が施され毎食事にはキムチか梅干しを選べるようになっています。職員は韓国の方が多数いらっしゃり韓国語での会話も行われ掲示板などは韓国語と日本語の表記になっています。日本の文化の香りもあり、1階には、日本の本格的な茶室がありました。韓国の方は、チョゴリを着て誕生日を祝ってもらうなど、韓国の文化にそった生活が出来、日本の方は、日本の文化にそった生活が出来ていて、互いの行事ごとなどを見学したり体験したりと楽しまれている様子がありました。韓国と日本の文化をミックスするのではなく、それぞれの文化を大切にされているのが印象的でした。

施設見学後には好例のオプショナルツアー開催。京都駅前のレストランで食べ放題のおばんざいをいただき満腹のお腹をさすりながら、快晴の古都を散策。八重桜やぼたんが咲き誇る東寺を訪れ、きらりと眼光が輝く国宝を鑑賞しました。「施設見学も楽しみですが、その後のお楽しみ企画も充実しているので満足感たっぷりです」と参加者から笑顔でコメントいただきました。

また今回の施設見学を機会に、研修委員会のメンバーが増えました。

次回、9月の施設見学(北海道べてるの家)も多くの会員のご参加をお待ちしております。